

学園 だより

193

2025 Winter

令和7年2月20日発行

〒381-8550 長野市徳間716
TEL026-295-7003 FAX026-295-4356
<https://www.nagano-nct.ac.jp/>

- 2 ■ 卒業式・修了式を迎えるにあたって
- 4 ■ 進学・就職体験記
- 6 ■ 第59回工嶺祭
- 8 ■ 学生の活躍
- 10 ■ 2学年 研修旅行／3・4学年 企業・現場見学
- 12 ■ 後援会だより／校内短信／表紙のことば

卒業式・修了式を迎えるにあたって



校長
江崎 尚和

卒業・修了を迎える皆さんへ

本科5年生、専攻科2年生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

本科卒業の皆さんは、新型コロナウイルス感染症が拡大し、日本中が警戒態勢を取り始めた真っ只中に本校に入学し、マスクで同級生の顔もわからないままの学校生活からスタートした年代になるかと思います。幸いなことに、後半の2年間は感染症の扱いが変更になったことで、本来の学生生活を送ることができました。ずっと耐え忍んだ3年間があったことで、解放された2年間の喜びと学生生活の充実感はいままでのどの年代の学生よりも強いのではないかと思います。

皆さんは卒業・修了後は就職や進学の道を歩まれ、新たな人生のスタートを切ることになります。これから進む道は必ずしも平坦ではないかも知れませんが、成功することあれば失敗することもあるかと思いますが、全てが人生の一部です。母校である長野高専での思い出や友人との出会いも、きっと皆さんの豊かな人生の一部となるでしょう。皆さんの輝かしい未来を心より応援しています。



BOYS, BE OTAKU!!!

5M 松本 光弘
(松本市立丸ノ内中学校出身)

充実した高専生活を送るためのたった一つの方法は、僕にとっては、オタクでありつづけることでした。

それは車のオタクであり、映像機材のオタクでもあり、パソコンのオタクでもあり、アニメのオタクでもあり、文章・音楽・SF・百合・歴史・軍事・鉄道のオタクでもありました。高専にはオタクがいっぱいいて、それぞれ違うことに興味をもっているのが当然という空気が流れています。僕にはそれがとても心地よく思われ、リベラル・アーツの本質を見るのです。

僕と同じように機械のしくみや工学やインフラに興味をもった連中が群れをなせば、できないことを探すほうが難しいと思います。優れた技術者はきっと優れたオタクに違いありません。



高専生活を振り返って

5S 櫻井 煌大
(松本市山形村朝日村中学校組合立鉢盛中学校出身)

高専生活を振り返ると様々な思い出が蘇ります。その中で、一番印象深いのは工嶺祭です。私は3年生からクラスの企画責任者を務めました。トラブルが起きることもありましたが、それらを乗り越えて、企画が成功したときの達成感は最高でした。今年は伝統の高専焼きを受け継ぎ、予想を大きく上回る大盛況でした。お買い上げ頂いた方ありがとうございます！春からは社会人になりますが、文化祭をはじめとした楽しい日々は決して忘れません。本当にありがとうございました。



高専ビフォーアフター

5E 松本 国真
(長野市立櫻ヶ丘中学校出身)

高専に入学した頃、僕はWordやExcelという言葉すら聞いたことがありませんでした。電気回路の授業に関しては、ほとんど意味が分かりませんでした。しかし、5年生

となった今、WordやExcelを使って実験や卒業研究についてまとめられるようになり、法則や定理を使って電気回路を解けるようになりました。高専の学生にとっては当たり前のことかもしれませんが、当たり前の知識がなかった僕にとっては、とても大きな成長でした。ここまで成長させてくれた先生方や友人、高専に通わせてくれた親への感謝を忘れず、大学でも頑張ります。



5年分の感謝

5J 黒澤 和夏
(信州大学教育学部附属長野中学校出身)

5年を振り返ると、いつも私のそばには、たくさんの人がいました。私は、吹奏楽部で、4年次に部長・学生指揮者を任命されました。失敗を何度も重ね、多くの方に迷惑をかけることもありましたが、OBOGの方々や先生方、後輩のみんなに支えられ、無事に定期演奏会を終えることができました。本当にありがとうございました。

最後に、ともに課題やレポートを乗り越え、毎日楽しい時間を過ごした友だちに、感謝をここで伝えたいと思います。

最高の5年間をありがとう！



最高の仲間に出会えた高専生活

5C 笠井 健生
(坂城町立坂城中学校出身)

僕が主に関わった課外活動として、剣道部と工嶺祭実行委員会が挙げられます。この2つの活動で僕はリーダーとして、最高の仲間や先生方に支えられていながら活動を無事終わらせることができました。課外活動だけでなく、普段の課題やテスト等でクラスの仲間と助け合いながら、無事乗り越えることができました。

この仲間との繋がりがこそ、高専生活で得られた一番大きなものだと思います。これからも高専生活でできた繋がりを大事にしながら、新天地でも活躍していけるように頑張ります。ありがとうございました。



不安から楽しさ、そして成長へ

2AP 知久 颯馬
(高森町立高森中学校出身)

入学当初は工業に全く触れたことがなかったため、すべてが新鮮である一方、ついていけるか大きな不安もありました。しかし、高専ならではのユニークな友人と切磋琢磨し、先生方と議論する中で、その不安は楽しさへと変わり、かけがえのない思い出を作ることができました。さらに、文化祭の開発リーダーや留学生のチューター、学会発表など、様々なことに挑戦する機会をいただき、自身を成長させることができました。これもすべて先生方や友人の支えがあったからこそです。7年間、ありがとうございました。



人生最大の7年間

2AE 赤塚 優輝
(長野市立若穂中学校出身)

長野高専入学から気がつけば7年経っていました。現代の玉手箱かと思いました。中学校の同級生と話すとき「まだ高専にいるの？」と毎回聞かれます。しかしながら私の中では高専で過ごした7年間は一瞬だったように感じます。高専での生活は人生最長であり、また人生最大に成長した期間でした。入学時には考えてもいなかった大学院への進学も決まりました。同年代の多くは就職し、社会人の先輩として働いていますが大学院は更に力を伸ばす自己投資だと思ってチャレンジしたいと思っています。長野高専、7年間クソお世話になりました。

担任の先生より



今の仲間を大切に

5M担任 岡田 学

ご卒業おめでとうございます。就職して社会人になると職場では先輩や後輩はたくさんできますが、対等な友達などはなかなかできないものです。学生時代の友達を大切にしましょう。きっと、人生が楽しくなりますよ。



感謝と協調を忘れずに

5E担任 鈴木 宏

感謝しながら協調性を持ち、他者と協働して物事を成し遂げましょう。世界中で君という人間は一人しかいない。しかし君は一人ではない、多くの友がまわりにいる。信念を持って行動すれば、必ず道は開ける。飛躍を祈っています。



楽しんで!!

5S担任 山田 大将

就職する方も進学する方も、これから多くの経験を積むはず。我慢が必要場面もあるでしょうが、楽しむ心も忘れずに。視点を変えれば、物事は意外と違って見えるものです。皆さんの未来を心から応援しています。



どこかでまた会いましょう

5J担任 大矢 健一

みなさんはおそらく、私の教員人生で最後の担任のクラスとなるので、全ての瞬間が想い出深いです。定年も近いので、今後、学校では会えないかもしれませんが、地球のどこかにいれば会えるはず！そのときを楽しみにしています。



“面倒くさい”の積み重ね

5C担任 轟 直希

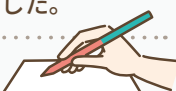
これからの人生、“面倒くさい”ことばかりです。いつまで経っても“面倒くさい”という気持ちと戦い続けなければなりません。正直、嫌だ。でも、その“面倒くさい”の先にあるのは、達成であり、成長であり、進化でもあるということを忘れないでください。卒業おめでとう。

進学 就職 体験記

就職先に内定した先輩、大学の編入学・大学院入学試験に

合格した先輩に体験記を書いていただきました。

在校生の皆さん、ぜひ参考にしてください。



就職



趣味と出会いを大切に

5M 小笠原 俊平
(伊那市立長谷中学校出身)

私は高専に入学した時点で「卒業したら就職して働きたい」となんとなく考えていました。部活や工嶺祭を通して趣味ややりたいことも増え、4年生のインターンシップの時期には県内で就職したいと思うようになりました。就職活動では、色んな先生に相談や面接練習を受けていただき、無事内定をいただくことができました。今はどんな職種を目指すか迷っているという人は、新しい趣味ややりたいことを見つけてみましょう。そうすればきっと、自分のなりたて姿ややりたい業種が見つかると思います。



新しいことに挑戦を

2AE 武田 秀輔
(長野市立豊野中学校出身)

私が専攻科一年生の頃は、働きたい分野や職種などが決まっていませんでした。そんな私に転職が訪れたのは、一年生の頃に参加したIT系企業でのインターンシップです。当時の私はIT分野には興味がありませんでしたが、新しいことを経験したいと思い、挑戦してみることにしました。そこでアプリ開発などを経験して、ITエンジニアとして働く選択肢が私に芽生えました。色々な新しいことに経験することで、あなたが選ぶ将来の選択肢が広がると思います。素敵な将来をつかみ取ってください。

就職



面接日の必需品

5E 上田 百花
(長野市立柳町中学校出身)

私は志望する企業から内定をもらうために、某先生に怒られながらエントリーシートを書き、その何倍も怒られながら面接練習をしました。面接前にはなにか食べておいた方がいいのですが当日は緊張でご飯が喉を通りませんでした。そこで、みなさんに面接日にもってほしいものは飴です。飴の糖分にはリラックス効果があるらしいです。飴を食べたおかげでリラックスでき、面接もうまくいき無事に内定をいただきました。みなさんも面接の際にはぜひ飴を持っていてみてはいかがでしょうか！

進学



進学って本当に大事ですか？という考え方

5S 松下 蓮
(大田市立大町第一中学校出身)

進学体験記ということで僕はみなさんにあれをやれとか、対策は早いうちからなんて言うつもりはないです。そんなこと既にみなさんわかっていると思うので。僕が言いたいのは「進学すること」そのものは、さほど重要ではないということです。これは就職にも言えますが、重要なのはあくまで「どこへ進学して、何をするか」ということです。そしてその「何をするか」がはっきりしていると進路選択がしやすいものもありますが、そういう人のほうが目標の切り替えが楽です。最後に、この文章でみなさんの進学への考えが少し楽になれば幸いです。

進学



備えあればうれしいな

5J 原田 悠永
(長野市立北部中学校出身)

進学において、つまりいた場合にどうするかを考えておくことは重要です。私は、第一志望の大学を推薦で受験し、落ちてしまいました。しかし、面接が得意でなかった私は、「推薦は落ちるのが普通、受かったらラッキー」と考え、推薦の準備をする傍ら、学力試験に向けての勉強をしていました。そのため、推薦で落ちた後、すぐに切り替えて勉強し、学力試験で合格することができました。合格発表の後に笑えていられるように、よく考え、計画を立てましょう。備えあれば患いなし、いや、「備えあればうれしいな」です。

進学



ひとまず進学する人の心境

2AP 矢島 満衣
(坂城町立坂城中学校出身)

私が大学院進学を決めた理由は、就職して働く自分の姿が想像できなかったこと、そして大学への憧れがあったことでした。大学は高専よりも広いキャンパスや充実した研究設備が整っていて、特に夜遅くまで学校に残れる環境に魅力を感じました。進学前の今は、これらの魅力にわくわくしつつも、長期的な目標がまだ見つけられていないことへの不安も感じています。進学後は、新しい環境の中で悩みながら、自分のやりたいことや進むべき道を模索し、より自分らしい生き方を形にしていきたいと考えています。

進学



5Cでラスったやつの物語

5C 武井 優樹
(長野市立櫻ヶ岡中学校出身)

これは万年Cランクの男の物語。4年の後期僕はふと思った。大学に編入して研究がしたいと。だが僕は今まであまり勉強をしてきていなかった。そのため僕は希望の大学の過去問に取り組み続けた。がんばった。でも足らなかった。僕は編入学試験で落ちたのだ。その後僕は、大学編入には二次募集があると知り、気持ちを切り替え先生方と様々な対策をし、無事合格することができた。これらのことから皆さんは僕のように挫折しないために日々の勉強に励んでいてもらいたい。

就職編

先輩からの声



- 自分のやりたいことを明確にしよう。
- 学生のうちにやりたいことをやったほうがいい。
- 面接練習はいろんな先生にお願いしてやってもらおう。
- 面接では質問に対して一言で答えるのではなく、何故そう思うのかを具体的に述べるとよい。
- 就活に早いと言うことはない！早くから企業研究をしよう！
- 授業の内容や作った物について面接で深いところまで聞かれたので、しっかりと理解しておけばよかった。
- 何事にも一生懸命に取り組もう！

- なにか1つでもアピールポイントがあるとだいぶ有利になる。
- 調べるだけでは会社の雰囲気などがわからないので、積極的にインターンシップに行こう！
- 妥協せずに絶対にこの企業でなければだめだと思えるような企業を探そう！
- なにからすればよくわからなかったらとりあえず先生に相談しよう。先生はたくさんの企業を知っています。
- 就職したらなにをしたいかを明確にするとある程度業種や会社が絞れる。

進学編

先輩からの声



- 志望校は早めに決めた方がいい。
- 3、4年で高い成績を取っておけば、推薦が狙える。
- 大学で何がしたいのか、その大学を卒業して何がしたいのか決めておく。進学を漠然とした目的にしない。
- 試験科目が年度ごとに変更されることがあるので、受験の要項はよく確認しておく。
- 試験の過去問には解答がない場合もあるので、早めに入手して科目の先生と解答を作ることから始めると良い。
- ネットやパンフレットのみだと分からないことが多いので、オープンキャンパスなどを活用して実際に大学に行ってみよう。
- 第二希望や滑り止めは、志望校と似た試験科目のところを選ぶと勉強しやすい。

- TOEIC スコアが必要になる学校もあるので、4年生のうちに高いスコアを獲得しておくと思う。
- 勉強はだいたい計画通りには進まないもので、早めに始める。
- 大学選びに迷ったときは、学科の先生に相談するというアドバイスがもらえる。
- 授業の内容を定期テストごとに理解しておく、受験勉強が楽になる。
- 自分の長所やアピールできること、成長したことを意識して生活しておく、面接で答えやすくなる。
- 面接は先生に心が折れるくらい練習してもらおうと、本番で緊張しにくい。
- 勉強すれば偏差値が高い学校にも意外といけるので、とにかく諦めずに勉強する。

第59回 工嶺祭

こんにちは！工嶺祭実行委員会です。第59回工嶺祭は、制限なしで開催した昨年を超え、さらにアップデートされた工嶺祭を目指して作り上げました。最高の3日間を写真とともに振り返っていきましょう！



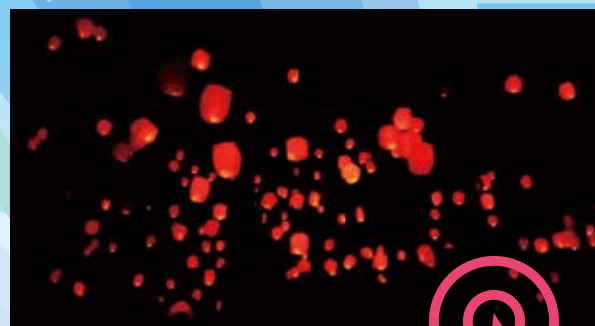
キックオフイベント

今年から始まった新イベント！屋台企画の紹介や、有志団体のダンスなど、学生の一般公開に向けた意識を高めていける企画となりました。

Kick off !!!

体育祭

今年は選抜リレーから開始した体育祭。綱引きや腕相撲などの新しい種目を加えて、白熱した楽しい体育祭となりましたね。来年は準備運動を忘れずに！



空飛ぶランタン

今年の目玉企画！学生や地域の小学生が自作したランタンを体育館で打ちあげて、無数のランタンが作る幻想的な空間を楽しみました。

Lantern



夜祭

クオリティの高い発表ばかりで会場は盛り上がりっぱなしでした。あの熱気は様々な人にとって忘れられない思い出になりました。



昼ステージ



今年もロータリーステージでたくさんの発表が行われました。夜祭とはまた違った雰囲気で行われた。夜祭とはまた違った雰囲気で行われた。夜祭とはまた違った雰囲気で行われた。

全てのクラス企画の質がとても高く、高専生の力を見せられたと思います。今年は企業協賛してくださる企業様も大変多く、高専と企業の繋がりを深められるいい機会にもなったと感じました。



クラス企画

Class

屋台



昨年の屋台数を超え、過去最大級の規模で行われました。様々な種類の屋台が出店し、ロータリーや駐車場がたくさんの人でにぎわっていました。どの屋台も美味しかったです！

第59回工嶺祭テーマである「Infinite」にふさわしい工嶺祭を作り上げることが出来ました。学生・教職員・協賛企業様など工嶺祭運営に協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。

ROBOCON

第37回アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト 2024

今年のテーマ「ロボットたちの帰還」は、ロボットがロボットを飛ばし、飛ばされたロボットがボール等を回収、その後元のエリアに帰還するという競技です。本校からはAチーム「まるくあり隊」とBチーム「3GRAVITY」が地区大会に出場しました。両チーム共に予選敗退でしたが、共に特別賞を受賞し、Aチームはデザイン賞を受賞しました。また、Aチームは全国大会のエキシビションに出場しました。



まるくありたい！

2-5 (MR) 小笠原 和奏 (学校法人才教学園 才教学園小学校・中学校出身)

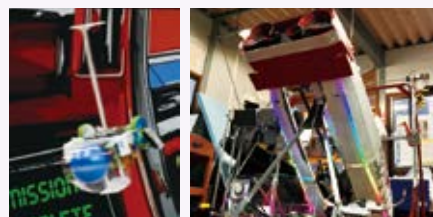
今年の競技課題が発表されたとき、「ロボットがロボットを投げる!」ととても驚きました。このような状況でチームリーダーをやることに少し不安を抱いていました。しかし、先輩や先生方、チームメンバーとの協力により、当初思い描いていた「まるい」ロボットたちを作り遂げることができました。ですが、今年は全国大会に出場できなかったことへの悔いが残ります。来年はこの悔しさを糧に一層頑張りたいです。



ロボコンへの立ち向かい方

3MR 大平 啓斗 (小布施町立小布施中学校出身)

皆さんは、ロボコンを自分の好きなことに向かって努力する、キラキラしたものだと思うかもしれません。しかし、実際はもっと複雑で、欲望が強すぎるために自分のやりたいことや時間、チームの方向性をすり合わせるのが難しいです。ですが、もし人生の時間が無限で、やりたいことが全部できたら本当に幸せですか？違うはずです！死を意識し、終わりを覚えることで、有限の中にこそ輝きがあることを理解してください。そして立ち向かいましょう。



ECONOPOWER

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージ チャレンジ 2024 第43回 全国大会

今年度は「Reginetta」チームが燃費 1753.044km/l を記録して優勝しました。本校のチームがグループIII (大学・短大・高専・専門学校クラス) で優勝したのは5年ぶり二度目です。二輪車クラスの「BKB」チームも燃費 264.233km/l で優勝しました。二輪車クラスは市販二輪車で参加できますが、年齢別のクラス分けが無く、社会人チームに競り勝っての優勝でした。



エコノパワー部の活動

3MR1 宮下 幸之助 (長野市立鬼無里中学校出身)

私たちエコノパワー部では、今年度にエンジン車とEVで計4つの大会に出場しました。特にエンジン車の全国大会では1753km/Lという記録でクラス優勝をすることができました。また、今年度に制作したEVの新車も大会に出場して完走・クラス3位を取ることができました。しかし、大会を通して様々な課題を発見したので、来年度はそれを修正し今年以上の記録を出せるように挑戦します。



「Reginetta」2019 年以来、2度目の全国優勝

4M 小林 珀琢 (佐久市立中込中学校出身)

昨年度のReginettaは配線トラブル等々が重なり、公式大会での記録が残せずに終わってしまいました。この悔しい気持ちをバネに、1から見直して妥協のない車両作りを意識しました。結果として、出場した3つの大会全てでクラス優勝を果たすことができ、非常に充実した1年間にすることができました。とは言っても記録自体はコロナ前に戻っただけです。来年度はさらに上の記録を目指して頑張ります。

PROCON

第35回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト



高専プロコンに参加して

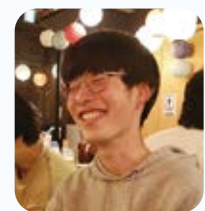
3IE2 野村 岳歩 (北杜市立高根中学校出身)

今回の競技部門は型抜きゲームで、いかに少ない手数で最終盤面にできるかが課題でした。今回のルールでは完成がとても重要だったので、完成を最優先の目標にしました。そして、手数をなるべく削減し、地道に少しずつ盤面を完成させられるようにアルゴリズムを工夫しました。1回戦目ではプログラムが動かずとても焦りましたが、その日の夜に必死に修正して2日目の敗者復活戦で復活できて良かったです。来年は後輩を連れて決勝戦まで進出したいです。



DESIGNCON

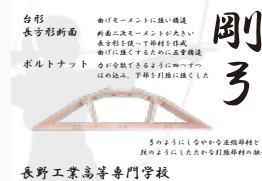
第21回全国高等専門学校 デザインコンペティション 2024 in 阿南



究極の構造を求めて

5C 小島 歩之 (箕輪町立箕輪中学校出身)

デザコンは土木・建築分野の高専生が集まり、各部門ごとに作品の完成度を競う大会です。構造デザイン部門ではケント紙を用いて40kgの荷重に耐える橋梁模型を製作することを目標としてこの1年間に活動してきました。残念ながら目標には届かない結果となりましたが、今年はレーザーカッターやCADの使用といった新たな試みを積極的に行ったので、来年以降につながる活動になったと思います。橋や建築物に興味のある方はぜひデザコン同好会にご参加ください！



Speech Contest

第39回関東甲信越地区 高等専門学校英語弁論大会



私と「黒輝石」

3IE1 二見 思郎 (上田市長和町中学校組合立依田窪南部中学校出身)

私が発表したテーマは「黒輝石」についてです。私は昨年の夏に、地元長和町主催の留学でイギリスを訪れ、黒輝石と縄文文化を紹介しました。スピーチでは、その体験と、そこから学んだ縄文人の価値観を説きました。一位を獲得できたのは、発音指導や添削をしてくれた知人、親身にアドバイスして下さった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。次は全国大会に歩を進めます。上位を目指して、さらに研鑽を積みたいです。

On November 9th, 2024, Shiro Futami, Nazuna Arakawa, Yoshiaki Miyazawa, and Haruki Higashinaka participated in the 39th annual Kanto Shin-etsu English speech and recitation competition in Tokyo's Arakawa Kosen campus. Futami took 1st place in the speech division and Miyazawa took 2nd place in the recitation division. All four students worked very hard.



2 学 年 研修旅行

2 学年では今年度も海外への研修旅行を実施し、11 月 5 日(火)から 8 日(金)の 3 泊 4 日の日程で台湾を訪れました。

初日は台湾へ移動し、2 日目午前の台北市立大安高級工業学校との交流では、互いの学校紹介、部活動パフォーマンスの披露、折り鶴作成を通じて学生たちの親交を結ぶことができました。午後は九份、十分、淡水老街の 3 コースに分かれて見学し、合流後に龍山寺を散策しました。3 日目は故宮博物院と忠烈祠の衛兵交代の儀式を見学した後、B&S プログラムで現地の大学生と一緒に台北市内で班別研修、夕食後は士林夜市を散策し、最後の夜を楽しみました。

本研修は主に現地の学生との交流を目的として、文化、価値観、言語に関わる様々な体験をすることができました。どれも日本国内だけでは得難いものであり、学生たちの今後の成長の一助になったと感じています。



I LOVE TAIWAN

2-1 古畠こころ (長野市立篠ノ井西中学校出身)

私たち 2 学年は 11 月 5 日から 3 泊 4 日の台湾研修旅行へ行ってきました。

印象に残ったのは大安工高との交流会と B&S です。大安工高との交流会では長野高専の行事や学校紹介のプレゼンをしました。緊張しましたがこれをきっかけに話しかけてくれた子もいてうれしかったです。また、B&S では現地の大学生と交流しました。私たちの班では全員で色違いの I LOVE TAIWAN の服を着ているところを回りました。日本では見たことがないような食べ物もあり面白かったです。台湾研修旅行を通してクラスの仲もより一層深まり充実した時間を過ごすことができました。



台湾でしか経験できない事

2-2 小泉健斗 (長野市立櫻ヶ岡中学校出身)

私達 2 学年は 11 月 5 日からの 4 日間、研修旅行として台湾に行きました。

今回の旅行では現地学校との交流において、英語でコミュニケーションを取ることができました。話した内容は、互いの名前から趣味、学校で専攻している事などです。これ

までの英語学習の成果を発揮できたと共に、これからの糧にもなる貴重な時間だったと感じます。

また旅行を通して、台湾でしかできない体験を数多くできました。現地でしか見られない物や場所を見る事や、街並みの中に日本と似た所・異なる所を見つける事は、とても新鮮で価値あるものだったと思います。

3・4 学年 企業・現場 見学

11 月 7 日(木)から 8 日(金)に 3 年生、6 日(水)から 8 日(金)に 4 年生の企業現場見学が実施されました。機械部品の製造現場、鉄道や発電の設備を見学するクラス、量子コンピューターやデジタル捺染等の最先端の技術に触れるクラス、屋内外で測量技術や橋の構造・歴史を学ぶクラスなど様々であり、学生が自身の専門分野への理解をより一層深める様子うかがえました。また、労働者人口の減少や地球温暖化、国際競争の激化など、数々の社会課題がある中で、課題解決に向けた各企業の取り組みや高専での学びがどう活かされているかを体感することができました。今回の経験から、学生が少しでも日々の学習の中に社会との繋がりを感じ、自身の将来像をより確かなものにしていけることを願っております。企業・団体の皆様、ご協力いただきありがとうございました。



3 CE 測量器具の説明を受けている様子
(上田城二の丸橋にて)



3MR2 講演聴講の様子
(ASPINA シナノケンシ様にて)



3MR1 集合写真
(ミネベアミツミ様にて)



3IE2 デジタル捺染技術の見学
(セイコーエプソン様ミュージアムにて)



4J 量子コンピューターの見学
(日本 IBM 様にて)



4C 集合写真(明石海峡大橋にて)



4E 集合写真(JR 東日本川崎火力発電所様にて)



3IE1 D51-486 の SL の前で(JR 東日本様にて)



4M 2 日目昼食の様子
(ホテルメルキュール横須賀様にて海軍カレーセット)



4S 集合写真(神戸製鋼所加古川製鉄所様にて)

■ 令和6年度後援会総会報告 ■

令和6年度後援会総会は、6月29日(土)午後13時より長野市「ホテルJALシティ長野」において、開催されました。

議事は令和5年度活動について、会務・事業・決算報告、令和6年度活動について、会務計画(案)・事業計画(案)・予算(案)議案は慎重審議の結果、いずれも原案通り賛成多数により可決されました。

今年度全国高専体育大会は北海道地区となり、多くの部活が全国大会まで勝ち残り輝かしい成果ができました。

また、Hondaエコマイレッジチャレンジにおいては2部門優勝、インターハイ・全国高等学校選手権大会へ3名出場、学生の頑張りがありました。今後も学生支援に取り組んでまいります。

ご協力の程何卒よろしくお願いいたします。



令和6年度予算および令和5年度決算報告

【収入の部】

(単位: 円)

科 目	R6年度予算	R5年度決算	備 考
入 会 金	3,780,000	3,740,000	新入生 20,000/1人・編入生 10,000/1人
会 費	23,100,000	23,078,000	22,000/1人
特定預金 取崩収入	5,000,000	0	
その他収入	500	155	預金利息・雑収入
繰 越	5,033,132	5,875,063	
合 計	36,913,632	32,693,218	

【支出の部】

(単位: 円)

科 目	R6年度予算	R5年度決算	備 考
課外活動援助	17,422,000	11,834,022	部活動・高専体育大会旅費・ものづくり支援
教育援助	5,407,000	4,883,109	教育支援・学校行事・専攻科・学生図書
その他援助	5,710,000	3,720,146	学生指導・寮生・国際交流・教員課外活動等支援
運 営 費	5,991,000	4,986,610	会議費・役員旅費・支部運営費・事務費・給与・慶弔費
特定預金	400,000	1,800,000	事故対策・周年事業・財政安定化積立
予 備 費	1,983,632	436,199	緊急を要する支出
合 計	36,913,632	27,660,086	

校内短信 INFORMATION

長野高専オープンラボ開所式を実施しました

令和6年10月29日(火)に長野高専オープンラボの開所式を実施しました。

オープンラボは長野高専内に開設され、長野高専と地域企業が協力して地域産業の課題解決を目指すもので、開所式には本校初のオープンラボとして共同研究を実施する地域企業2社、アピックヤマダ株式会社、山洋電気株式会社が参加しました。

開所式では、江崎校長よりオープンラボの開設に至った経緯の説明があり、続いて田中副校長(研究主事)よりオープンラボの取り組みや活用例等が紹介されました。参加した報道機関の方々から多くの質問が寄せられるなど、本校の取り組みに対する関心の高さが窺われました。



表紙のことば 一期一会の出会い 一般科教授 大西 浩次

「彗星のごとく」という言葉があるように、「彗星」の出現は、昔から、多くの人々に大きな印象を与えていたのでしょう。2024年10月の紫金山・アトラス彗星(C/2023 A3)もその様な大彗星の一つです。彗星は、太陽系形成期の微惑星が外縁部に飛ばされた始原天体です。これらが、何かの拍子で太陽系内部に落ちてくることで、彗星核(~微惑星)の揮発性物質の氷(CO, CO₂, H₂Oなど)が溶けてイオンの尾を作るとともに、混ざっていた塵(ダスト)が放出され、ダストの尾を作ります。写真は2024年10月20日に撮影した紫金山・アトラス彗星です。国立天文台野辺山のミリ波干渉計10m電波望遠鏡の向こうに、見かけの角度で約30°にも及ぶ長い尾が写っています。肉眼でも長い尾が見えていました。太陽系誕生から約46億年、原始惑星円盤内で最初に凝結したダストたちが、一度きりの太陽への接近で46億年の封印が解けた(溶けた)様子なのです。

(場所: 国立天文台野辺山宇宙電波観測所、撮影: 大西浩次)

(注)略称について

工学科 IE:情報エレクトロニクス系、MR:機械ロボティクス系、CE:都市デザイン系、LA:リベラルアーツ教育院
旧学科 M:機械工学科、E:電気電子工学科、S:電子制御工学科、J:電子情報工学科、C:環境都市工学科
専攻科 AP:生産環境システム専攻、AE:電気情報システム専攻

「学園だより」バックナンバーは以下にアクセスすることにより、PDFでダウンロード可能です。<https://www.nagano-nct.ac.jp/>